

奥会津  
妖精美術館  
2021

ニューヨークと八ヶ岳から

# 母と娘の2人展

6/1<火>▶11/9<火>

秋好正子 + 秋好恩

<八ヶ岳>

<NY>

開館期間 / 4月29日～11月9日(開館9:00～閉館17:00)  
休館日 / 水曜日(水曜日が祝日の場合は、その翌日)  
入館料 / 大人(高校生以上)300円、小中学生 200円  
団体(高校生以上)270円、小中学生 180円

## 秋好恩(娘) <過去の作品例>

(左)「花咲く泡 No.7」で、2010年制作、キャンバスにアクリル絵具、直径117cm  
(右)「花咲く泡 No.23」で、2013年制作、キャンバスにアクリル絵具、直径30cm



秋好恩 <展示の例> 過去のペインティング・インスタレーションの展示風景  
・2013年10月のB-gallery(東京目白)での個展+作者  
・2015年3月のNew City Art Fair(アメリカ、ニューヨーク)というアートフェアでの展示

## 作家プロフィール(秋好恩)

1997年 東京芸術大学 油画専攻卒業  
2002年 SVAスクールオブビジュアルアーツ大学院  
ファインアート科修士課程修了(ニューヨーク)  
ブルックリン美術館(NY)、仁川ビエンナーレ(韓国)、ジャパンソサエティ(NY)、アトランタアートセンター(米国)、シンガポール美術館、上海現代美術館、ブルゴスアートセンター(スペイン)、東京芸術大学大学美術館、台北當代芸術館、クンストハウスドレスデン(独)などの国際展や美術館にて展覧会、パフォーマンス、トークなどに参加。ニューヨークタイムズ紙、ABC紙(スペイン)、Schaffhauser紙(スイス)、エルムド紙(スペイン)、アートアジアパシフィック誌(NY)、スポーツ&ストリート誌(イタリア)、コリアタイムズ紙(韓国)、ブルックリンインディペンデントテレビ(NY)、そしてニューヨーク大学やイエール大学出版の美術書などに作品の紹介、インタビュー記事、レビューなど掲載される。



福島県奥会津の山深い中にある沼沢湖。  
森に囲まれた湖・沼沢湖のほとりに、世界中の妖精が集まっています。その湖畔に1993年にオープンした美術館には、日本の妖精研究の第一人者、井村君江のコレクションを中心に、妖精を描いた絵画・絵本・文学の資料・人形・妖精をとり入れた小道具などがたくさん展示されています。また、妖精美術館のステンドグラスは世界で活躍の場を広げる天野喜孝さんが手掛けています。93年の当館オープニングに和泉流の狂言「夏の夜の夢」が上演されたのを初めとして、妖精にちなんだ様々なイベントも行われています。

妖精美術館 TEL.0241-55-3180 〒968-0002 福島県大沼郡金山町大字大栗山字狐穴2765

交通 / JR只見線「会津川口駅(会津若松駅から約2時間)」よりタクシーで約20分。車の場合は磐越自動車道、会津坂下インターで下車、国道252号線を只見方面へ約40分。

県立宇都宮女子高(井村君江と同窓)卒業後、多摩美大デザイン科へ。当時は安保闘争の時代(その時母54歳。癌で他界)。その後広告代理店や銀座のデザイン事務所でも働きつつ、近くの美術館で銅版画の作品を数点作るも、美術館会館の閉館のため銅版画の作業が困難になりペン画をはじめた。

31歳で娘を出産。朝日新聞に連載中の有吉佐和子の「複合汚染」を読み公害問題、食品汚染に目覚めて全国の有機農家の人たちや、宇都宮大学の森林学者の教授と市民運動へ、当時出版した「リポート開発への警鐘」は市民運動では奇跡に近い1万部を発行。やがてバブルが崩壊し全国的な乱開発は鎮静化に向かう。

気づくと還暦「お母さんはやるべきことはやったのだから、これからはやりたいことをやりなさい」と人生の舵取りを娘に促され、銀座のギャラリーで初個展。

宇都宮の妖精美術館館長で英文学者の井村君江に出会い、深く広い知識の豊かさに感動し、憧れ、共感しつつご縁を深まさせていただきました。そして先生のすすめで今回の母娘展の機会をいただき感謝しています。

金山町妖精美術館は深い森の中、そこでの森の妖精たちは、どのように作品を迎えてくれるのでしょうか。妖精たちと作品との出会いがとても楽しみです。

## 秋好正子(母) <過去の作品例>



作品「彼方へ」 作品「煉獄の華」

ニューヨークの女性監督 Cathryne Czubeck 制作のドキュメンタリー映画「ON Blooming Art」(6分)をモニターで上映します。

## ◆アーティストの作風

観る方々を招くこととマジカルな美の瞬間、これらふたつのバランスを求め実験し続けています。よって作品形態は参加型やインタラクティブなパフォーマンス、スカルプチャー、絵画、インスタレーションなどです。いつも描かれる花々は、フレンドリーな永久(とこしえ)を象徴しています。

## ◆作品のコンセプト～「花咲く泡 Blooming Bubbles」

コップに水を注ぐ、泡がぷくぷくとあらわれては消える。水のめぐりに生まれては消える泡と、生きとし生けるもののいのちが重なった。泡がうまれる瞬間は、ぱっと花が咲くようで。一瞬のたまゆらのような生命に、すべての泡が満開に咲くことを祈って。

